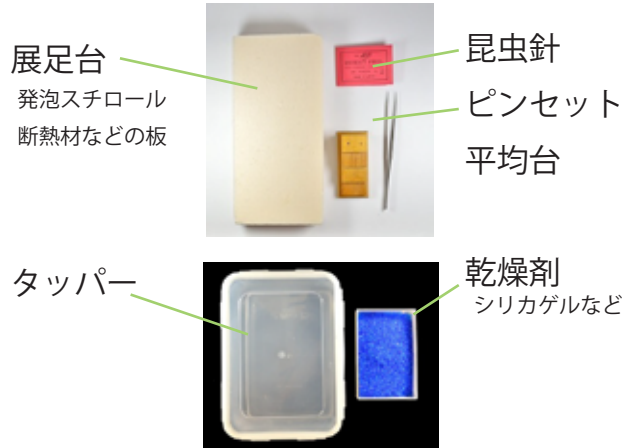


昆虫標本の作り方

学校 年 組 名前

昆虫の標本は、じっくり観察したり、名前を調べるのにとても便利です。このテキストでは、ミヤマクワガタを例に標本の作り方を紹介します。

準備するもの



①針で固定する

標本の「右のはねの右上あたり」に針を刺して固定します。標本が乾燥して硬くなっていたら、水やお湯につけて柔らかくしましょう。



このあたりに
針を刺します



長時間入ると腐ってしまうので
ときどき様子を確認しましょう。

②高さをあわせる

平均台を使って針を刺す「高さ」を決めます。高さをそろえると、見栄えがよくなります。

いちばん深い穴に差し込みます



③標本を差し込む

標本ができるだけ水平になるように展足台に針を差し込みます。



横からみたところ

④展足により形を整える

ピンセットを使って脚や触角を左右対称に整える作業を「展足」といいます。図鑑を参考にポーズを決めてもいいでしょう。

針を使って“×”を作り、あしを持ち上げたい場合は下から支えて、下げたい場合は上から押さえつけます。



あしの、体に近いところを“×”の上側で支えています

あしの先を“×”の下側で押さえつけています

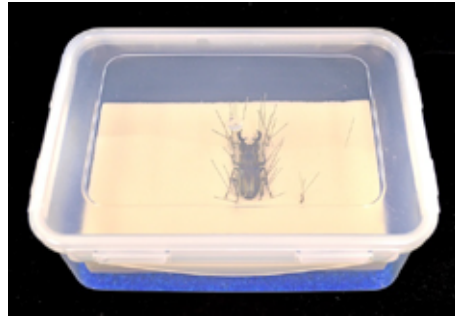


上からみたところ

⑤乾燥させる

タッパーにシリカゲルを敷き詰めて、その中に入れて乾燥させます。1か月くらいかけてじっくり乾かします。乾燥が不十分だとカビが生えてしまうことがあります。

水分を吸ったシリカゲルは青からピンクに色が変わります。フライパンで炒めたり、電子レンジを使って加熱するとまた使うことができます。



⑥針をはずす

じゅうぶんに乾燥したら、丁寧に針を外して昆虫を展足台から引き抜きます。



横からみたところ



上からみたところ
①の図と比べてみよう

⑦ラベルをつける

「いつ・どこで・誰が採集したか」を記録したラベルを作り、平均台を使って昆虫の下側に差し込んで固定します。

つかまえた場所

つかまえた日付

つかまえた人



下から2段目に差し込んだところ

⑧完成

密閉できる容器に入れて、出来るだけ光の当たらない場所で保管しましょう。標本を食べる害虫が入り込むことがあるので、防虫剤をかならず入れておきましょう。

防虫剤と一緒に
いれよう

